

夏休み! 子どもキャスター奮闘記

行政情報番組「きらめきこうか」のリポーターやキャスターに6人の子どもたちが挑戦しました。慣れないスタジオやテレビカメラの前で緊張しながらも、元気に笑顔でやりきりました。

子どもたちが出演する番組は、あいコムこうか光テレビで9月8日（土）まで放送していますのでぜひご覧ください。（放送時間等は27ページの番組ガイドに掲載しています。）

リポーターに挑戦する鶴山ららさん「かわせみ教室」についてインタビュー



スタジオを見学する戸田桃歌さん「きらめきこうか」のセットでキャスターの中井真奈さんと

番組収録中の（左から）北條陽菜さん、安喜雅さん、徳田青泉さん



リポーターに挑戦する福井舞桜さん「空き家対策」についてインタビュー

- 子どもキャスターの皆さん●
- 綾野小学校5年 鶴山ららさん
 - 貴生川小学校5年 安喜雅さん
 - 甲南第二小学校5年 福井舞桜さん
 - 貴生川小学校6年 北條陽菜さん
 - 水口中学校2年 戸田桃歌さん
 - 土山中学校2年 徳田青泉さん

広報見聞録
子どもたちと共に作り伝える
 今回は、子どもたちが「広報こうか」の特派員と、行政情報番組「きらめきこうか」のキャスターを務めました。
 特派員の皆さんは、それぞれのテーマについて疑問を解決するために、事前準備をして取材に臨みまし。初めての経験で緊張し、早口になったり、メモを取り忘れたり、台風の影響で予定していた取材ができなかったりと悪戦苦闘しながらも、取材先の協力を得て、無事終えることができました。
 キャスターの皆さんは、収録日まで放送原稿を何度も声に出して練習し当日を迎えました。本番では番組キャスターの中井さんのアドバイスを受けながら、カメラに向かって堂々と話すことができました。
 限られた期間での活動でしたが、子どもたちと共同作業で広報紙や番組を作り上げることができました。取材などを通して、子どもたちがまちのことを知り、ふるさと甲賀市への愛着を深めるとともに、同世代の子どもたちが広報紙などに関心を持ってくれるきっかけとなることを期待しています。

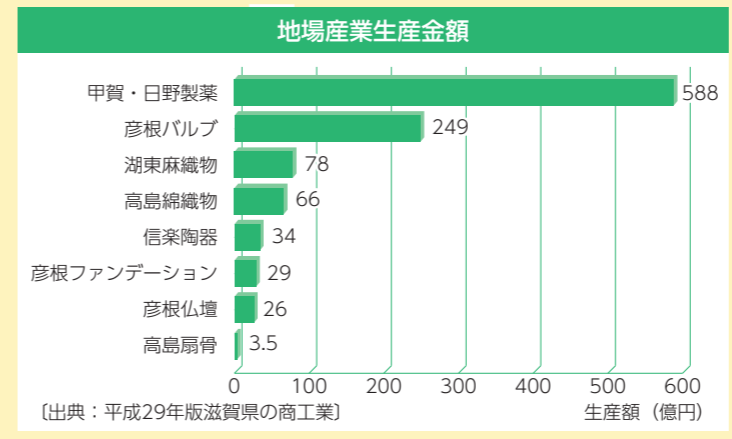


皆さん知っていますか？ 地場産業の“くすり”

水口中学校2年 長井 優奈 さん



甲賀の地場産業と聞いて、「くすり」がイメージできませんでした。そこで、甲賀の製薬の歴史等を学びに「くすり学習館」へ取材に行きました。



地場産業つてなに？
 地場産業は、地域の歴史、風土など地域資源を生かし、地域経済の基盤となっている産業です。市内では、信楽の陶器と甲賀の製薬が地場産業として生産されています。
滋賀県の地場産業の生産金額第1位
 甲賀・日野の製薬業は、滋賀県内の地場産業の中で生産金額第1位となっています。

料金は後払いシステム 配置売薬
 今は、市内にもドラッグストアなど身近にくすりを購入できるお店があります。昔は、各家庭に販売員が訪問する配置売薬というシステムが主流でした。



▲忍者兵糧丸作り

くすりの歴史に織田信長や甲賀忍者
 滋賀県は昔から、さまざまな種類の薬草が豊富で薬草栽培に適した自然環境に恵まれていました。あの有名な武将の織田信長は、植物の種類が豊富な伊吹山に目をつけ、薬草園を開き、ポルトガルの宣教師に命じて薬草栽培を始めました。
 そして、甲賀では戦国期に甲賀流忍者たちが薬草を育て、常備薬や敵を眠らせるくすりを作り、忍びと言われる者は全国でそのくすりを売り歩いて生計を立てていたと伝えられています。

身近でくすりについて学べる「くすり学習館」
 今回取材した甲賀町にある「くすり学習館」では、薬業関連の資料を歴史の流れに沿って展示するだけでなく、薬草検索や美肌診断、兵糧丸作りなどの体験学習型の学びもできます。
 無料で見学できますので、甲賀のくすりを学ぶにはオススメです。
くすり学習館
 場 所…甲賀町大原中898-1
 開館時間…9時30分～17時（入館無料）
 休館日…毎週月曜日（祝日の場合は翌日）



▲配置売薬の展示

- ① 配置販売員が、自宅を訪問
- ② 配置箱の薬を点検
- ③ 料金は使用した分だけ後払い